

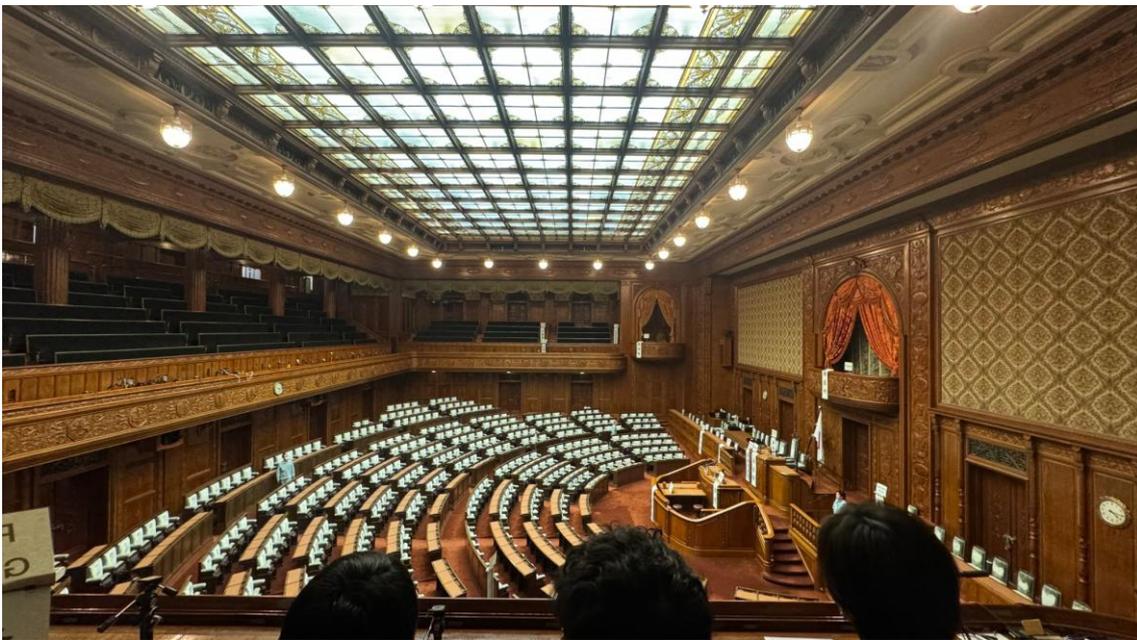
中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	衆議院を知る
調査日	11月6日
調査先	衆議院
担当 CVS	熊崎希美、加藤真帆、松橋りさ
授業科目/学部企画名	訪問調査「企業訪問」
参加学生数(学年)	1年生7名、2年生10名
調査趣旨・目的	衆議院を概括的に理解するとともに、更なる関心を寄せる。
調査結果	<p>衆議院事務局は、主に衆議院内の会議運営や衆議院の議論に資する調査、その他、立法活動に必要な事務を行う。</p> <p>これらの業務を遂行するために、衆議院事務局には様々な部局が存在する。衆議院事務局訪問会では、当方が国際経営学部であることから、国際部について説明していただいた。</p> <p>ご説明いただいたことを簡潔にまとめる。</p> <p>国際部には総務課、総務課議員外交支援室、渉外課、国際会議課が存在する。総務課は、海外出張を行う議員や職員の公用旅券発券のための手続き等を行う。渉外課は海外からのお客様の受け入れ、案内等を行う。そして、国際会議課は衆議院が公式に開催または参加する国際会議を所管しており、参加議員を事務の面から直接的にサポートする。議題・発表原稿の作成、会場運営、翻訳、食事・交通手段の手配等、業務は多岐にわたる。</p> <p>今回の企業訪問を通じて、国会を補佐する衆議院事務局職員と議員が密接に関わっていること、また、事務局が法律案の審査を支援する重要な役割を担っていることを理解しました。国会の中で働くのは議員だけではなく、さまざまな職種の人々が協力し合い、働いていることが分かりました。このように、国政の最前線には多様な働き方があり、今後の自分のキャリア形成における選択肢が広がることに気づきました。また、社会の仕組みや政治に対する関心が深まると同時に、社会貢献の方法についても考えるきっかけとなりました。この訪問を通じて、社会とのつながりや自分の成長に対する新たな視点を得ることができ、今後のキャリアを形成する上で非常に有意義な経験となりました。講義でお世話になったお二方の今後のご活躍を切に願いたい。</p> <p>国会議事堂は、建築工事に254万人が携わり、完成までに17年にも及ぶ期間を要した。敷地面積103,007平方メートル、建物面積13,356平方メートルの広大な広さを誇る。地上3階、地下1階建ての鉄骨鉄筋コンクリート造で造られていて、建築費は当時およそ2570万円、現在の価値でおよそ600～1000億円にも及ぶとされている。</p> <p>私が個人的に印象深かったのは、衆議院議場だ。実際に本会議が開かれる場で、正面中央の高い椅子のある席が議長席、その左隣が事務総長席と</p>

なっている。議長席を中心として左右にそれぞれ 2 列の席があるが、前列は
国務大臣席で、内閣総理大臣席は左側の議長席付近にある。議席は、議長
席に向かって左から右へ、所属議員数の多い会派から順次、各会派別に着
席するのが慣例となっている。各議席には、氏名標と呼ばれる黒い四角柱に
議員の氏名を書いたものが備え付けられている。

普段、画面越しに見ていた光景を直接拝見することができ、感動を覚えると
ともに、より国会を身近に感じることもできた。また、衆議院事務局職員の方
の明瞭なご説明により、衆議院の概括的な部分を理解した。本講義で得た
学びを今後の更なる理解への第一歩としたい。

※調査時の写真





最後に衆議院前で集合写真を撮りました。